

「あ～思い出せない！」のフランス式表現



突然ですが皆さん、こんな経験はありませんか？

あ　　、あれ、あれ、あれ、何て言うんだったっけ？えっとほら、なんとか。えっと、えっと
・・・あーもう「喉元まで出かかっているのに！！！」

日本は「喉」フランスは「舌」



こういうもどかしさ、皆さん何度となく経験おありのはず。さてこの表現、フランス語では次のように言うのです！

J'ai quelque chose sur le bout de la langue !

舌の先っぽに何かを持っている

と、直訳はこうですが言いたい事はお分かりですよね？「言いたい事が口から出て来ない！」
言葉がつかえている場所が喉元ではなくて「舌先」なのがフランス式？

どうしても思い出せない時は・・・

ちなみに「quelque chose」を別の名詞に置き換えれば

Ah..... j'ai son nom sur le bout de la langue....

「あ〜〜〜彼の名前って何だったっけ...」となります。どうしても思い出せない場合は、こう聞いてみましょう。

Il s'appelle comment, déjà ?

この déjà ですが「既に」という意味がありますね？（既視感・デジャビュ・déjà vuの デジャ！）こいつがまた便利なヤツでして、déjàを文の最後に入れることで「もう知っているんだけど、なぜか思い出せないんだよね。」「既に一回聞いているんだよね。」「それは覚えているんだけど・」なんてニュアンスがぐぐっと入ります！

「彼のお名前は何かですか？」という質問がdéjàを最後にくっつけるだけで、「彼のお名前は何かでしたっけ？」に早変わりです！

あとがき

なんども訪ねて失礼かしら？なんて思う時など、この表現は便利ですよ。ぜひ表現の引き出しに入れておきましょう。

執筆 Yasko

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円〜受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

